

書式第 4 0

【書類名】 実用新案登録料納付書
(【提出日】 令和 年 月 日)
【あて先】 特許庁長官 殿
【併合識別】 併合
【併合件数】
【実用新案権者】
【氏名又は名称】
【納付者】
【識別番号】
【住所又は居所】
【氏名又は名称】
【登録料の表示】
【予納台帳番号】
【納付金額】
【併合納付の明細】
【実用新案登録番号】
【請求項の数】
【納付年分】 第 年分
【納付金額】
【実用新案登録番号】
【請求項の数】
【納付年分】 第 年分
【納付金額】
【実用新案登録番号】
【請求項の数】
【納付年分】 第 年分
【納付金額】

〔備考〕

- 1 「【併合件数】」の欄には、併合により行う手続の合計件数（「件」、「、」等を付さず、アラビア数字のみで表示すること。）を記録する。
- 2 特例法施行規則第 4 1 条の 9 第 1 項に規定する納付情報により登録料を納付したときは、「【登録料の表示】」の欄の「【予納台帳番号】」を「【納付番号】」とし、納付番号を記録する。この場合において、「【納付金額】」の欄は設けるには及ばない。
- 3 昭和 6 2 年 1 2 月 3 1 日以前にした実用新案登録出願に係る登録料を納付するときは、「【請求項の数】」の欄は設けるには及ばない。
- 4 その他は、工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則様式第 9 の備考 1、2、5、6、8、1 1 及び 2 6、様式第 1 2 の備考 4、様式第 1 9 の備考 2 から 4 まで並びに様式第 2 0 の備考 1 と同様とする。この場合

において、様式第 19 の備考 3 中「【特許出願人】」とあるのは「【実用新案権者】」と、備考 4 中「【特許料の表示】」とあるのは「【登録料の表示】」と、「特許料」とあるのは「登録料」と読み替えるものとする。

(改訂令和 6・1)